

科目名	物理基礎		学年	類型・コース	単位数
			2年	全員履修・普通	2単位
学習の目標	身の回りの物体の運動や物理現象に関心を持ち、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解する。物理的な事物・事象についての観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。				
教科書	教科書：高校物理基礎（実教出版）				
副教材	副教材：なし				
評価	評価法	学習に向かう姿勢、提出物の状況と内容、小テスト、実験レポート、定期考査への取り組み 等			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、物理現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図る。	
		b	思考・判断・表現	物体の運動や物理現象を科学的に探究するために、見通しをもって実験や観察を行い、一連の学習を自分のものにする。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	物体の運動や物理現象に対して主体的に関わり、気付きから課題を解決しようとする態度を養おうとする。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	単位と次元、有効数字	単位と次元、有効数字について理解する	定期考査	小テスト 提出内容 実験レポート	ノート 授業反応 実験態度
	5月	8	力と加速度の関係、運動の法則	力と加速度の関係、運動の法則について理解し、式を用いて計算できる			
	6月	8	力の性質	力のつり合い、合成と分解について理解する			
	7月	4	自由落下運動や鉛直投げ上げ運動の時間、速度、位置の関係式	自由落下運動や鉛直投げ上げ運動の時間、速度、位置、の関係式について理解し、式を用いて計算できる			
夏休み							
2学期	9月	8	エネルギーと仕事	各種エネルギーと仕事について理解する	定期考査	小テスト 提出内容 実験レポート	ノート 授業反応 実験態度
	10月	8	熱	熱と温度、熱の移動と保存、熱と仕事の関係について理解する			
	11月	8	波	波の性質について理解する			
	12月	4	音	音の性質について理解する			
冬休み							
3学期	1月	6	電気	電気の性質、電力と電力量、モーター・発電機の仕組みについて理解する	定期考査	小テスト 提出内容 実験レポート	ノート 授業反応 実験態度
	2月	6	電気の利用	電気の利用について理解する			
	3月	4	エネルギーとその利用	私たちの身の回りにあるエネルギーとその利用について理解する			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
毎時間の授業を大切にし、テスト前は演習問題を繰り返し行うとよい。